ヤジロベー死亡三昧

ごうけつ

【注意事項】

DF化したものです。 このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にP

じます。 品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁 小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作

【あらすじ】

死亡能力と無限生き返り能力を得た不死身ヤジロベーの残酷話

次

ヤジロベー死亡三昧

ある朝ヤジロベ ーが目覚めるとカリン様がヤジロベ ーに言いまし

「ヤジロベー、お主に素晴らしい能力を身につけさせてやったぞ。 限生き返り能力じゃ」 無

その意味をヤジロベーはすぐに悟りました。

ヤジロベーは荒野をしばらくふらふら歩いてました。 じきにベ

ジータがやってきて

「おい、デブ。殺してやる。ありがたく思え。」

でもしたがいますから。」 ヤ「ひえええ、助けて下さい。ベジータ様。 あなた様のご命令に何

べ「うるさい。覚悟しやがれ。」

ベジータは震えるヤジロベーの体を触りながら

開けてやる。」 「ふふふ、いい体しているじゃねぇか。まずはこのどてっ腹に風穴を

ズドーン!

腹を撃ち抜かれ思わずうずくまるヤジロベー

「おうつ」

いきました。 ベジータは間髪入れず脇腹、みぞおち、その横、 両胸と撃ち抜い

そして心臓を掴むと満身の力を込めて握りました。

ヤ「ぎゃあああああああああああああああああああああああ

すばやく心臓を抜き取り地面に落とします。

さらに胴体の横の下→中→上の撃ち抜き手を横に広げさせ真一文

字に貫通。

にも穴を開けていきました。 ベジータは空に飛ぶと肩→足、頭→股下と撃ち抜いていき、 腕と足

地面に落下したヤジロベー、 更に空へ放り投げるとギャリック砲をこれでもかと浴びせました。 全身から湯気が出ています。

ベ「立て!」

の瞬間です。

さりました。 ベジータはギャリック砲でヤジロベ \mathcal{O} 頭をあとかたもなく

ヤ「ぎゃあああぁぁ……」

ヤジロベーが殺されるのを見ていた悟空と悟飯。

ぱちぱちぱちぱち拍手喝采です。

「どうだ、カカロット。貴様には到底出来ない芸当だろう」

空 「そんなことねえよ。オラサイヤ人だぜ。 なあ悟飯

飯「はい、もちろんです。楽しそうですよね」

へ「じゃあ、今度は貴様らがやつを殺してみろ」

空「いやったぁ」

飯「へへへ、ありがとうございます」

ヤジロベーはほどなくして生き返りました。 歩いていると悟空と

悟飯にでくわしました。

聞いてくれよ。 ベジータの奴ひでえんだぜ。 オレ、 さっ

きベジータに殺されたんだ」

空「ははは、 何言ってんだ。 オラにはベジー タの気持ちよおく

ぞし

ヤ「えつ」

悟空もヤジロベーの腹をさすりながら

「とうとう、 オラがおめえのどてっ腹に風穴を開ける日がやってきた

んだ」

ヤ「……」

悟「死にやがれ、ブタヤロー!」

どてっ腹を勢いよく撃ち抜いていきました。

ヤ「どうおおおおお」

それからはベジータと全く同じ攻撃、 とどめに頭を吹き飛ばされた

ヤジロベー、死にました。

また生き返り今度は悟飯の番です。

「僕はベジー タさんたちと違うやり方で殺しますよ」

悟飯はヤジロベーの両手を横に広げさせると

ズドーン!

右腕を消し去りました。

ズドーン!

で。 左腕、 両足と消し去るとヤジロベーは地面に倒れました。 あおむけ

た。 すると小さい エネルギー -弾で少しずつ胴体を消 し去っ て 11 きまし

ヤ「うぎゃ あ!うぎゃ あ!うぎゃ あ!うぎゃ あ! うぎ

!

ヤジロベーにとってはまさに地獄 の時間が続きます。 そし

みになると悟飯は

「くたばれええええええ」

特大エネルギーで頭部消滅

ヤジロベー死す。

再び生き返ったヤジロベーをベジータは必殺「きたねえ花火」 で一

瞬にしてこっぱみじんにして殺しました。

その日は3人に代わるがわる殺されまくりやっと夜解放されてカ

リン搭に戻りました。

着くとすぐカリン様が感想をたずねました。

ヤ「へへへへ、すげえ楽しかった。殺されるっ 7 のはい いもんだな」

「そうか、ところで何か欲しいものはあるか?」

ヤ「超神水っオレあれ飲んで死にてえ」

力 「欲張りなやつじゃな、 そこにあるから好きなだけ飲むがい

「へへへ、サンキュ」ゴクゴクゴクゴクゴクゴク

「うぎゃあああああああああああああ

ガクッ

ヤジロベーは死にました。

死ぬことが大好きになったヤジロベーは外ではベジー カリン搭では超神水をくり返し飲み干し死と遊んでました。 タたちに殺

そんなある日カリン様が

「ヤジロベー、新しい能力をやろうか?」

ヤ「どんな能力だ?」

カ「ずばり、即死能力じや」

ヤ「欲しいっ是非下さい。」

カ「この能力はな、ダメージを受けた瞬間軽く力を入れろ。

れば確実に死ねる」

この能力を持って町へ行きました。 すると悟空が

「ちょっと一緒に来てくれ」というのでついていきました。

悟空はある研究所に入っていき博士に

「いいもん持って来た。これでいいか?」

博「おおっなかなかいいブツじゃないか。 気に入った。 では引き取

ろう。お金はいくらじゃな?」

悟「そうだな、2000万くれえ貰おうか。」

博「なんじゃ。ずいぶん安いのぉ。 ではその4倍の8000万でど

うじゃ」

商談成立。

博「さて、 お前さんにはわしの実験台になって貰うぞ。 もちろんお

前さんは命の補償は無い。」

「はいっもちろんいいです。 どんどんオレを殺して

その実験とは死に到る病気の体における経過でした。

機械に入れられ発ガン剤を大量に投与され実験開始。 「ぎゃああああああああああああああああ

ガン細胞が全ての内臓を侵します。

心臓がガン細胞で埋まるとヤジロベーは死にました。

生き返り実験は続きます。

肝硬変、心筋梗塞、 脳卒中、 血液凝固と。 その度にヤジロ ベ

が消滅していました。

ひととおり実験が終了すると博士は

どうじゃ?」 「ごくろうさん。 力してくれたお礼にこのわし自らの手で君を殺してやりたいのだが 君のおかげで貴重なデ ータを取れたよ。 ところで協

ヤ「よろこんでっ」

博士は桶に水を貯めるとヤジロベ ーの頭を水に押し込みました。

ガボガボガボガボガボガボガボ、

ガクツ。

ヤジロベー溺死。

次は硫酸のプールに突き落とし、ヤジロベーは溶けてあとかたもな

く消え去りました。

それで解放されたヤジロベー、町をふらふら歩いていました。

といかにも気の弱そうな太った男とぶつかりました。

男「何すんだよお」

しかしその声はあきらかに無理をしているような声でした。

ヤジロベーはすかさず

「ごっごめんなさいっどうか命だけは助けて下さい」

と命乞いをしました。もちろん演技ですが。 すると男は

(こいつを殺して死体を持っていけばいじめっ子も僕を恐れるかも)

と心で感じ

「うるせえ、お前を殺してやる。 覚悟しろ」と言いグサッ!

ヤジロベーの腹に包丁を深々と突き刺しました。

ヤ「うつ」

それから腹をメッタ刺し、 胸もかなり刺しました。 そして

「もうそろそろ死んで貰うよ」

心臓のど真ん中を

グサリー

するとヤジロベーは即死機能を使い死にました。

男「やっやったぞ。 とうとう僕も人殺しが出来たんだ。 バンザー

イ

男はいじめっ子のところに行き死体を見せました

いじ「おっお前人殺ししたのか?ひええっもうお前には逆らわな

ょ

更にヤジロベー が歩いていると少女が近づいて来て

「ねえ、死んで」

と言ったのでヤジロベーは少女のあとについて行きました。

川までくると少女はヤジロベーの頭を掴み無理矢理川の中に突っ

込みました。

少女「くたばれええ」

ガボガボガボガボガボガボガボ

ガクッ。

ヤジロベー本日2度目の溺死。

少女は友達に死体を見せびらかしました。 すると友達は

「すげぇ、お前人殺し出来るんだ。 更にヤジロベーは町をぶらぶら。すると女に声をかけられました。 偉いよな」と褒めまくりました。

女「ねえ、 あなたを殺したいんだけど、 いい?

ヤ「ああ、いいけどなんで?」

女「人殺しに理由なんてあると思う?」

ヤ「そうでした。ごめんなさい」

彼女の殺し方は絞殺。 太いヒモを首に巻くと締め付けました。

ぎゅうううううううううううううううう

その力の凄いこと、あっという間に首にヒモが深く食い 込んで

ます。

ヤ「ぐえええええええええええええええええええ

数分締めつけられ死んでいきました。

女は死体を抱え家に行きました。

カリン搭に戻ったヤジロベー。早速カリン様に

「オレ、今日一般市民に殺されたよ」

カ「ほほう、 そうか。 しかし人殺しなんてよく出来るのお」

ヤ「それはそうだろ。 人間誰でも殺人願望を持ってんだから。

よりカリン様。超神水くれよ。なっなっ」

カ「今日はだめじゃ」

ヤ「なんだっ新手のいじわるか?」

「いやいやっ今日は新手の死に挑戦してみるのじゃ」

ヤ「新手?なんだよ。気になるじゃねぇか」

刀「これじゃ」

ヤ「なんだ?このデカイ箱は」

カリン様が箱を開けると毒蛇がぞろぞろ16匹出てきました。

ヤジロベーはもうわくわく

「すげえ、毒蛇かよ。カリン様やるぅ」

カ「ふふふふ、これはただの毒蛇ではないぞよ。 コブラの20 0 倍

の猛毒を持つバジリスクじゃ」

「カリン様、 能書きはいいから早くこいつらに咬ませろよ」

カ「いけえ」

蛇がヤジロベー の体を這って位置に つきました。

カ「咬めえええ」

ガブッ!ガブッ!ガブッ! ガブッ!

牙を深く突き入れ一気に毒を注入。

カリン様はここでヤジロベーに試練を与えました。

それは①悲鳴はおろか口も開い てはいけない

②どんなに苦しくても手を喉にやってもがいては

③のたうち回らず直立不動でいること。

ヤジロベーは

「わかった。やってやる」

と気合いを入れました。

その瞬間猛毒で体に激痛が走り毒がヤジロベーの全身をかけ 回り

ました。

ヤ「……」

目ん玉丸くしながらも必死で耐えてました。 全身からあぶら汗を

流して。

ました。 40分後カリン様が合図を送ると蛇はすぐヤジロ ベ \mathcal{O} 体を離れ

生き返ると今度はカリン様は地上に行き「飛び降りろ」

その瞬間ヤジロ

ベ

ーは地面にドサッと倒れ息の根が停まりました。

。すぐダイブしたヤジロベー、

地面に全身を強打して即死。

死体はウパたちにプレゼントされました。

をしていました。 カリン様がカリン搭に戻るとヤジロベ ーはすでに次の死へ の準備

台を蹴っ飛ばしました。 首吊り自殺をしようと いうのです。 縄に首をく くると思 11 つきり

ガクン。

見事にヤジロベーの首が縄によって絞められこれまた即死。

この首吊り死体はカリン搭の真ん中にずっっとオブジェとして飾

られました。

演技であったのは言うまでもない。 にざまを経験していくのでした。 転落死、それに自殺とこの先無限に死のラビリンスでヤジロベーの死 自殺を含め命を奪われ爆死に射殺、 町では一般市民に殺され、 ベジータたちにも殺され、 ちなみに最初の命乞いはもちろん 溺死に絞殺、 毒殺に焼死、 カリン搭でも 病死に